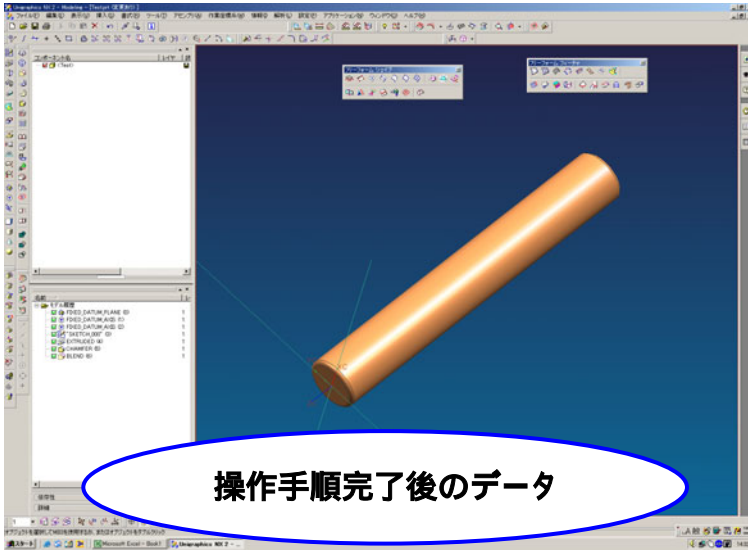
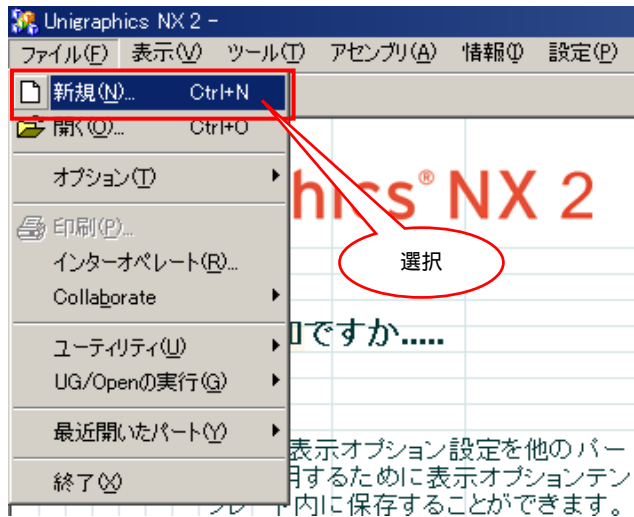
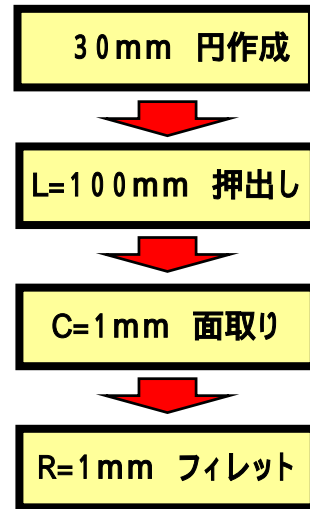


モデリングの基本手順(ユニグラフィックス編)

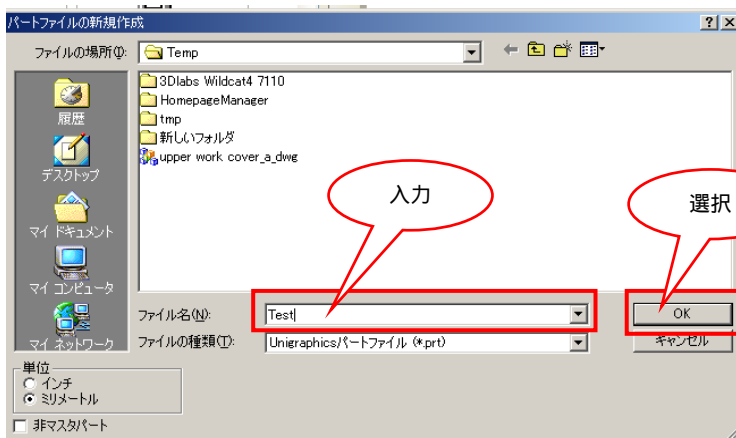
題材:丸棒作成(30mm、L=100mm)



モデリング フロー

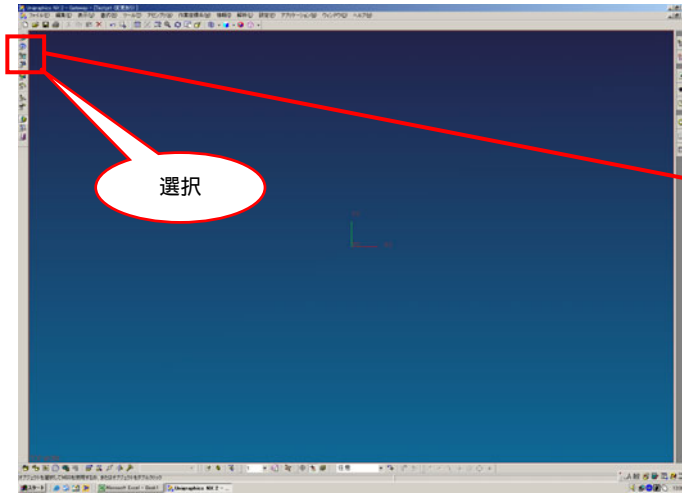


(新規ファイル作成)
メニュー【ファイル】 【新規】を選択

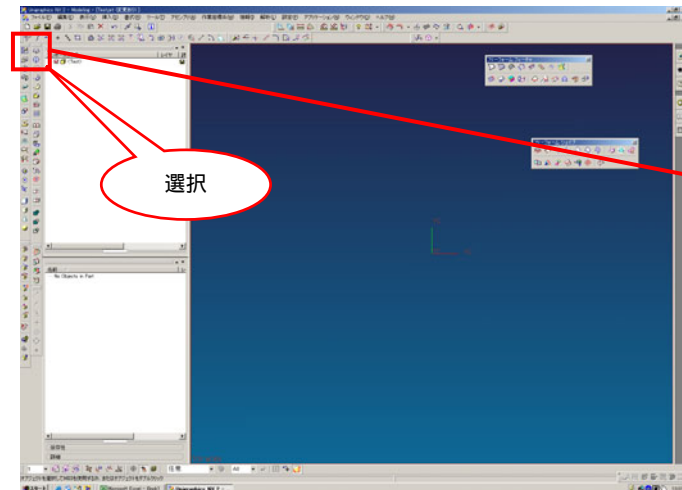
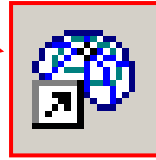


(新規ファイル作成)
ファイル名を入力し
OKを選択

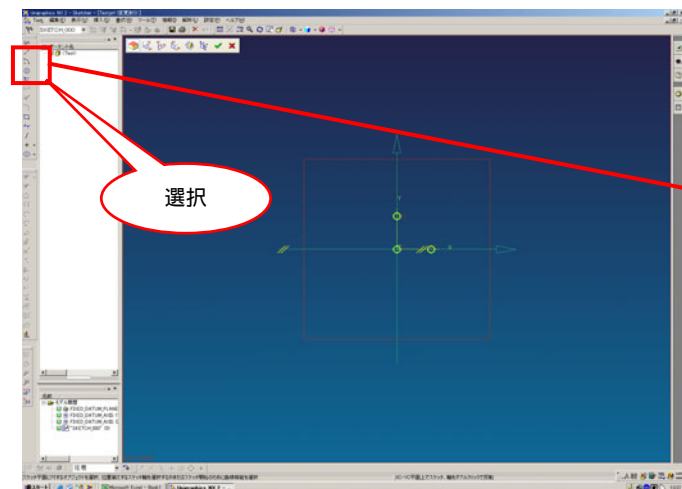
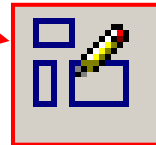
モデリングの基本手順(ユニグラフィックス編)



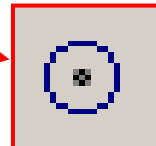
(30 mmの円データ作成)
【モデリング】アイコンを選択



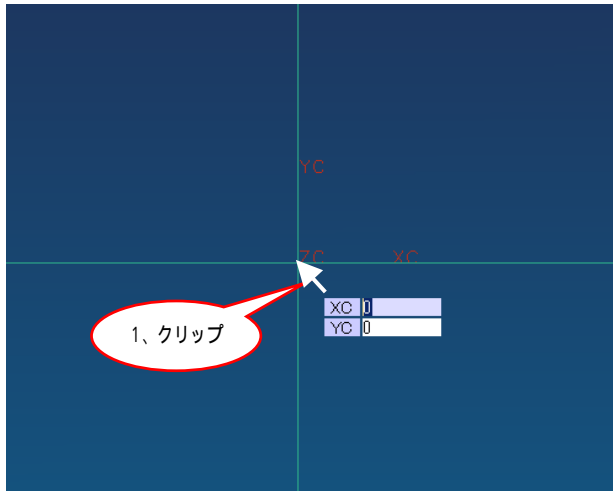
(30 mmの円データ作成)
次に、【スケッチ】アイコンを選択



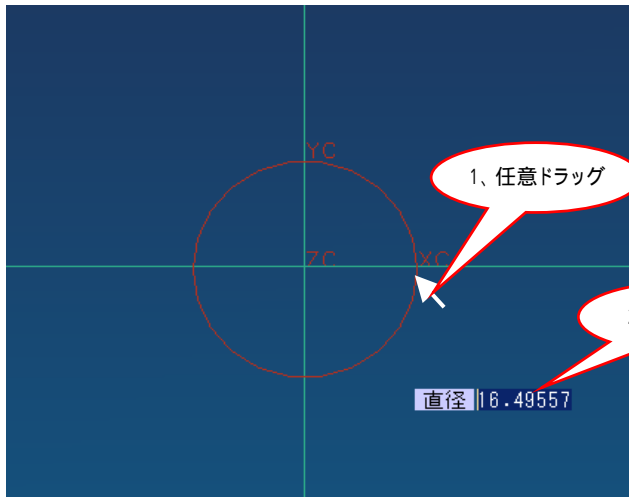
(30 mmの円データ作成)
XY平面ビューが表示される
次に、【円作成】アイコンを選択



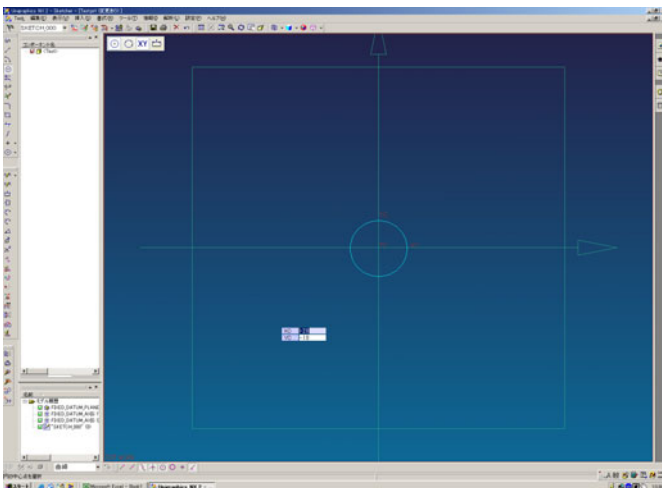
モデリングの基本手順(ユニグラフィックス編)



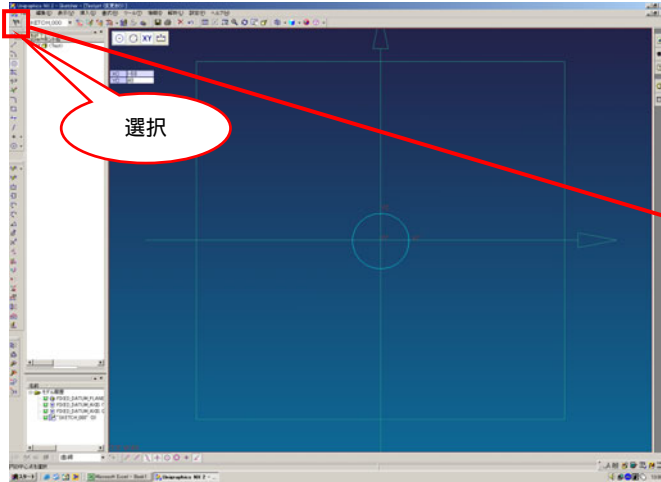
(30 mmの円データ作成)
座標値表示が出ますので
X:0、Y:0をクリップし選択



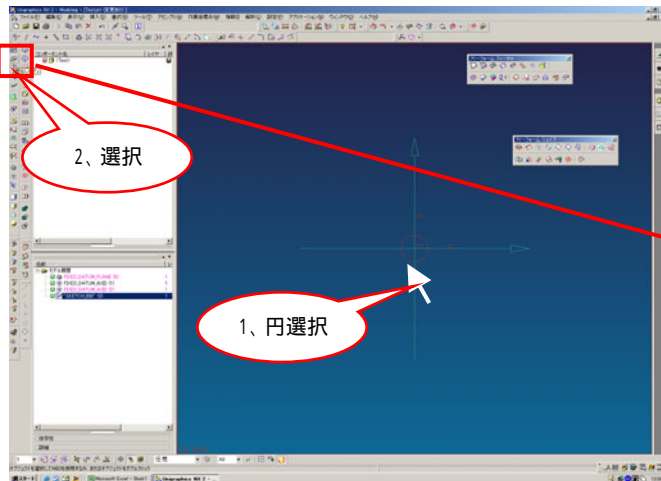
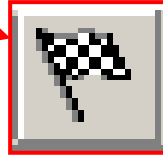
(30 mmの円データ作成)
任意の位置までドラッグし適当な位置で
クリック確定
直径数値入力パネルが表示される
次に、直径数値入力パネルに30と入力し
【確定】



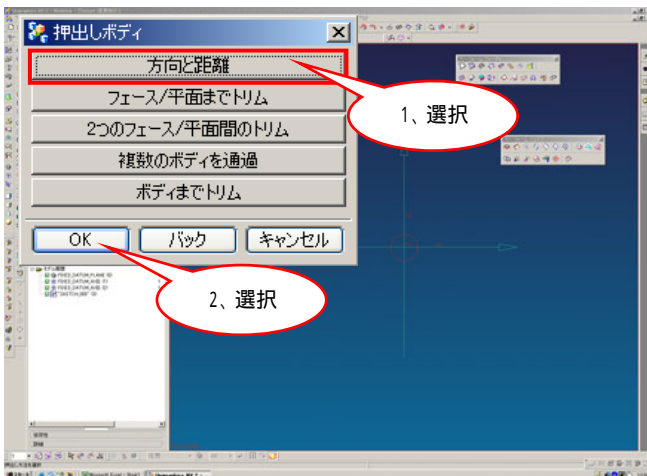
モデリングの基本手順(ユニグラフィックス編)



(L=100 mmの円柱データ作成)
次に、【スケッチを終了】アイコンを選択
スケッチメニューから抜ける

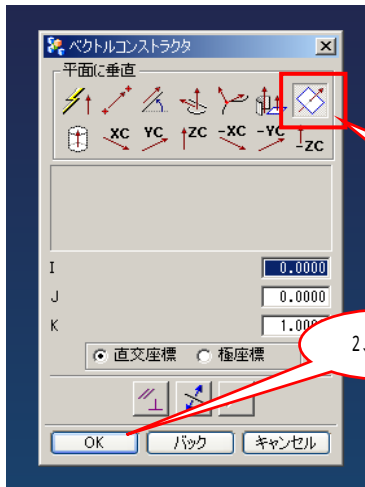


(L=100 mmの円柱データ作成)
次に、30丸円を選択
【押し出しボデー】アイコンを選択

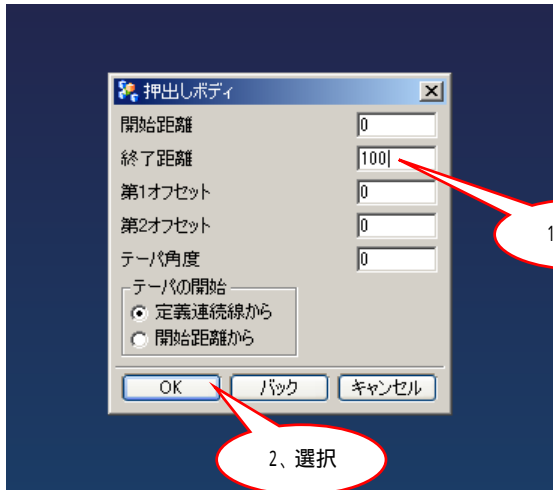


(L=100 mmの円柱データ作成)
選択パネルが表示される
【方向と距離】を選択し
【OK】を選択

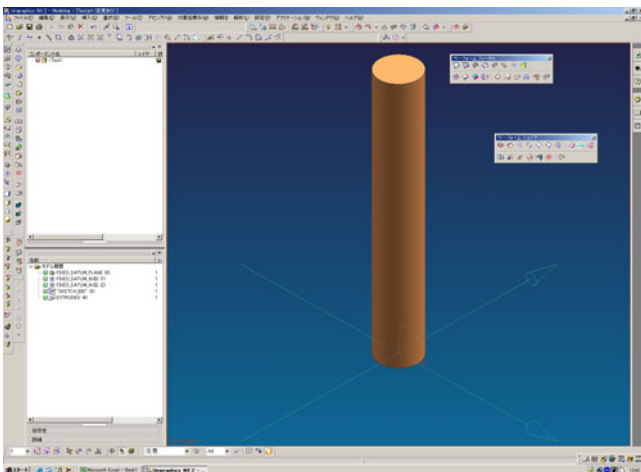
モデリングの基本手順(ユニグラフィックス編)



(L=100 mmの円柱データ作成)
ベクトル選択パネルが表示される
アイコンを選択し
[OK]を選択

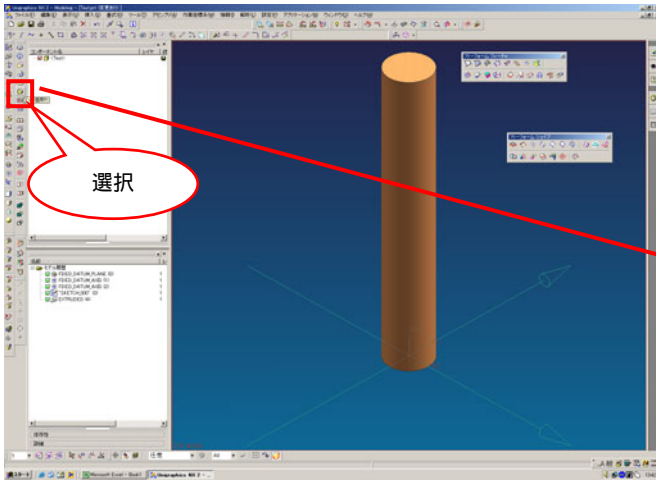


(L=100 mmの円柱データ作成)
数値入力パネルが表示されるので
次に、[長さ]に100と入力し
[OK]を選択

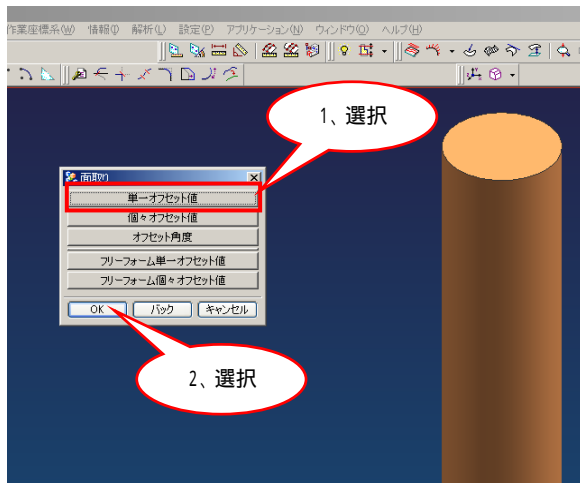
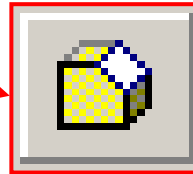


(L=100 mmの円柱データ作成)
30、L=100の円柱形状が完成

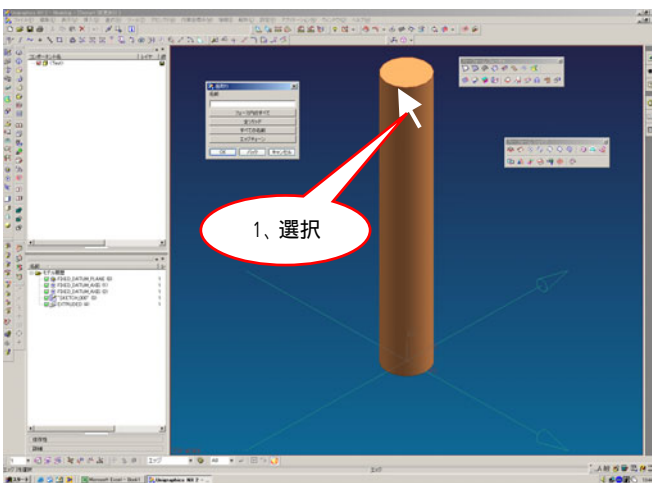
モデリングの基本手順(ユニグラフィックス編)



(C=1mmの面取り作成)
【エッジ面取り】アイコンを選択

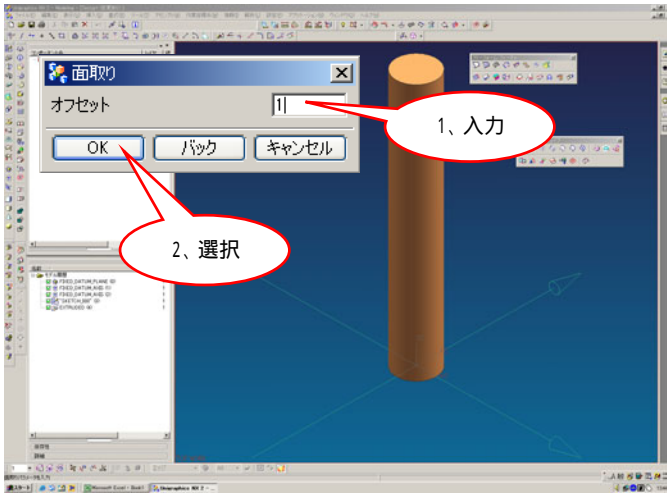


(C=1mmの面取り作成)
面取りパネルが表示
【単一オフセット値】を選択
【OK】を選択

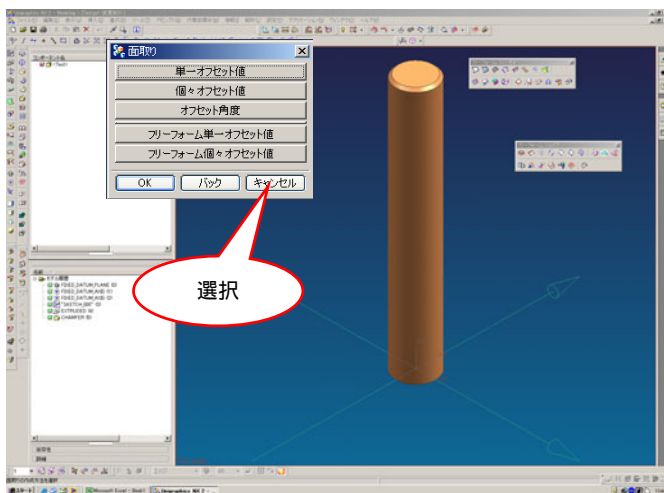


(C=1mmの面取り作成)
次に、面取りを行うオブジェクトを選択
(対象エッジ部交線)

モデリングの基本手順(ユニグラフィックス編)

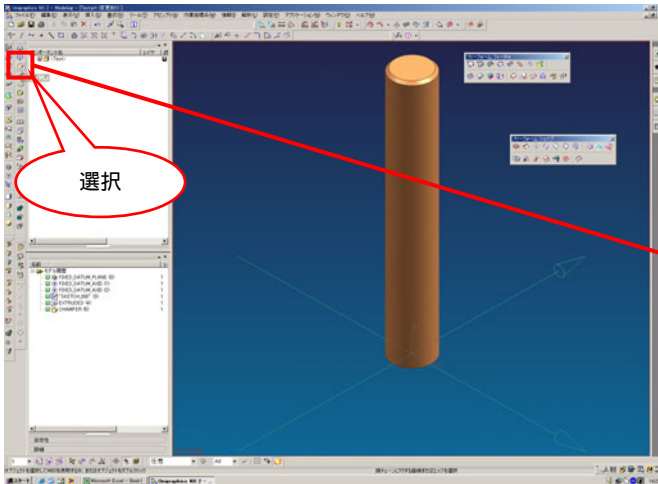


(C=1mmの面取り作成)
数値入力パネルが表示される
次に、【オフセット】に1と入力
【OK】を選択

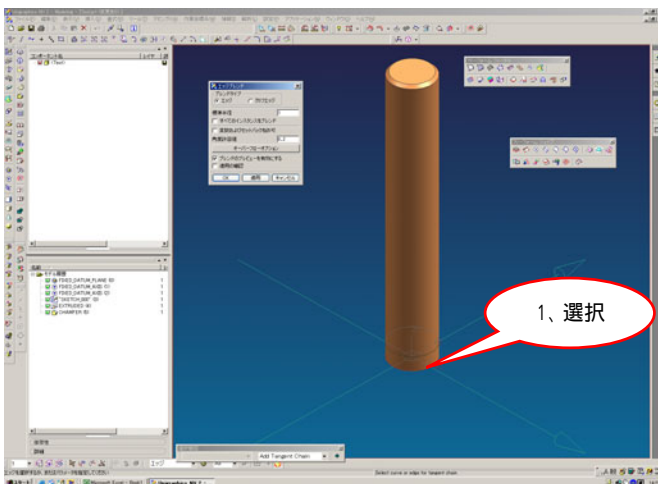
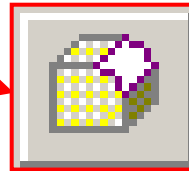


(C=1mmの面取り作成)
形状がOKであれば【キャンセル】を選択し
メニューを抜ける
C=1mmの面取り形状が完成

モデリングの基本手順(ユニグラフィックス編)



(R=1mmのフィレット作成)
ビュー操作でモデルを反転させる
次に、【エッジブレンド】アイコンを選択

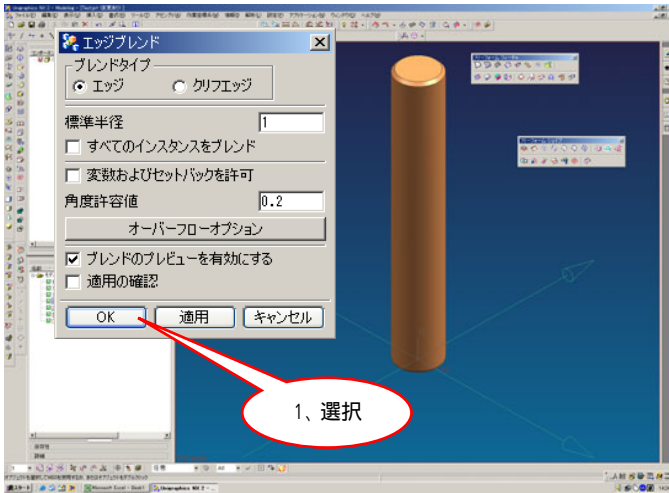


(R=1mmのフィレット作成)
フィレットを行うオブジェクトを選択
(対象エッジ部交線)

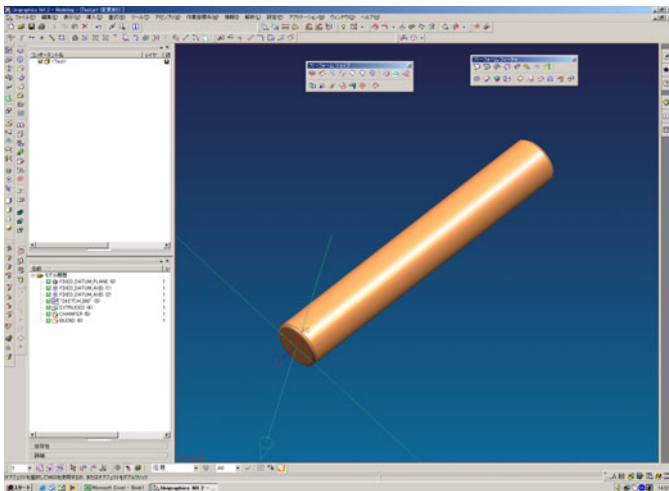


(R=1mmのフィレット作成)
エッジブレンド設定パネルで
【適用】を選択

モデリングの基本手順(ユニグラフィックス編)



(R=1mmのフィレット作成)
形状確認を行い
良ければ[OK]を選択



(R=1mmのフィレット作成)
R=1mmのフィレット面取り形状が完成

全手順終了